

授業科目名	母性看護学援助論(2300219)		
時間割名	母性看護学援助論(51205)		
時間割担当	西田絵美		
実施期	前期	単位数	2 必修
曜日・時限	金・1		

授業の目標・概要

母性の特徴を理解したうえで、妊産褥婦および新生児の身体的・心理的・社会的側面における健康状態をアセスメントし、必要な援助ができる知識・技術・態度を習得する。看護過程の展開能力については、ウェルネスの理解と思考過程を身につけ、対象の主体性を引き出す援助方法について学ぶ。同時に、本講義全体を通して学習者自身の母性観・父性観を高め、生命の尊厳について考察できるようになることもねらいとしている。

学習の到達目標

1. 正常な妊娠・分娩・産褥・新生児期の身体的・心理的・社会的特徴が理解できる。
2. 妊産褥婦及び新生児に対する看護過程が展開できる。
3. ハイリスクや正常を逸脱した状態にある妊産褥婦および新生児に対する看護が理解できる。

授業方法・形式

講義・演習

授業計画

- 第1回 ガイダンス 母性看護に必要な思考過程 ウェルネスの理解
- 第2回 妊婦の看護1 妊婦および胎児の健康状態のアセスメント
- 第3回 妊婦の看護2 妊婦の健康相談 出産準備教育
- 第4回 妊婦の看護3 ハイリスク妊婦のケア
- 第5回 産婦の看護1 分娩経過に伴うアセスメントと看護
- 第6回 産婦の看護2 ハイリスク産婦のケア
- 第7回 褥婦の看護1 褥婦の健康状態のアセスメント
- 第8回 褥婦の看護2 褥婦と家族へのケア
- 第9回 母乳育児と子育て支援
- 第10回 新生児の看護1 新生児の健康状態のアセスメントとケア
- 第11回 新生児の看護2 新生児の異常と看護
- 第12回 看護過程の展開1 褥婦編
- 第13回 看護過程の展開2 新生児編
- 第14回 看護技術演習1
- 第15回 看護技術演習2

成績評価の基準

定期試験 60%
 小テスト・課題レポート 30%
 学習態度(課題の提出状況・演習の取り組み状況等) 10%

授業時間外の課題

- ・ 褥婦および新生児に対する看護過程の事例展開
 - ・ 看護技術演習に関する事前事後学習
- 上記2点は必須課題である。(詳細は授業の中で説明する)

知識の定着を確認する小テストを授業の中で実施するので、必ず復習しておくこと。

メッセージ

看護技術演習の補習を予定している。(詳細は授業の中で説明する)

教材・教科書

系統看護学講座 専門分野 母性看護学2 『母性看護学各論』医学書院

参考書

ナーシング・グラフィカ 『母性看護学-母性看護技術』メディカ出版
 その他は授業の中で適宜紹介する。